

船外機のエンジンの始動及び暖機運転

燃料供給の点検

1

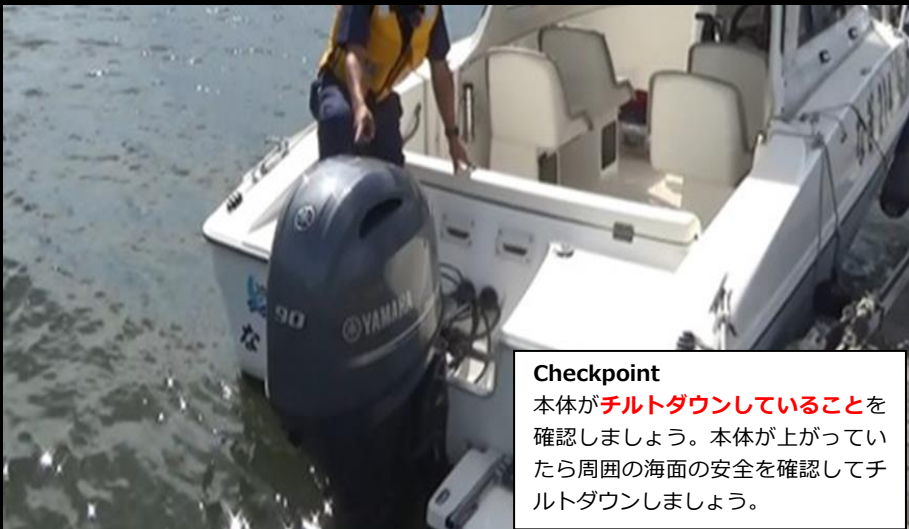


Checkpoint

プライマリーポンプを数回握ったり、離したりし、燃料が供給されると次第に**固くなる**ことを確認しましょう。

チルトダウンの点検

2



Checkpoint

本体が**チルトダウン**していることを確認しましょう。本体が上がっていたら周囲の海面の安全を確認してチルトダウンしましょう。

緊急エンジン停止コード及びスイッチの点検

3



差込み状態の確認

Checkpoint

停止コードとロックプレートの装着を確認しましょう。停止コードは海中転落することを想定し手や足、衣服や救命胴衣に取付けましょう。

エンジンの始動（1）

4



Checkpoint

レバーを前後に軽く動かし、**中立位置(N)**にあるか確認しましょう。

エンジンの始動（2）

5



Checkpoint

スターターモーターを連続して長く回すと、バッテリーがあがる恐れがあります。機関がすぐに始動しない場合は、しばらく時間を置いてから始動するようにしましょう。

冷却水の点検

6



Checkpoint

エンジン**音**や**振動**、**排気色**に異常がないことを点検しましょう。

暖機運転

7



Checkpoint

クラッチを切り離して、リモコンレバーを少し倒します。リモコンレバーを調整し、少し回転数を上げながら数分間暖機運転を行きましょう。

リモコンレバーの点検

8



Checkpoint

スムーズにシフトレバーが切り替わるか、レバーが円滑に動くか、ガタがないかを確認しましょう。

ハンドルの点検

9



Checkpoint

ハンドルを左右いっぱいまで円滑に回り、ハンドルの動きに併せて船外機が正常に動くかを確認しましょう。また、オイル漏れや異常がある場合は整備事業者で点検を受けるようにしましょう。

撮影協力：日本海洋レジャー安全・振興協会